磐城毎日

社長　大和田與兵衛
發行所　福島縣平市南町
株式會社　磐城毎日新聞社
編集兼印刷發行人　遠藤孝倫
電話(平)一二一〇番

土木建築設計請負
磐城土建工業株式會社
社長　强口唯七郎
平市小太郎町
電話五九・二六三・一〇三四番

戰線の連合軍えと
湯本主婦の會から慰問品

常磐炭鑛湯本鑛主婦の會傘下淺貝、八仙、台ノ山、辰ノ口、東區、寶海、青葉、鹿島、龍ヶ澤の各區代表鈴木マツ(五〇)落ヒデ(四二)さんら廿名は二十四日來平、國連デーを記念して是非苦勞されている前線の兵隊さんえ慰問品をと、同主婦の會で協力しキャンデーやリンゴ、野菜などを賣り捌きながらたくわえたお金で人形かんざし、風呂敷等六十余点の慰問品を平商工會議所に寄せ關係者を感激させた

日野工博を招き火藥講演會

平石炭協會では廿四日午前十時半から常磐地區各炭鑛の火藥發破係員を參集して火藥取扱いについて講演會を開く、講師は炭鑛煙藥について＝日本化學研究課長日野熊雄工學博士、導火線と點火工具について＝岩鼻作業所長增田信男氏、火藥類取締法の改正について＝火藥部長南坊平造氏、なお同協會では廿五日選炭研究會廿六日税務懇談會を行う事になった

早場米出足良い
第二期分割當を突破

本年度郡下早場米の供出狀況は第二期(十月十五日迄)割當六百二俵半に對し供出六百四俵の好成績であったなお第三期分(十月末日迄)の割當は四千二百九十二俵であるが好天に惠まれているため割當は樂に突破するものと豫想されている

ラジオ、學童を動員
教委選、棄權防止を計る

來月十日行われる縣教育委員選擧は全縣下が一選擧區となっている關係もあって選擧熱は頗る低調であり農繁期でもあるので相當の棄權がある事を豫想されている、關係機關では東北民事部よりの指令もあり棄權防止の啓蒙運動に積極的に乘り出す事となった、平市並に市選擧管理委員會では平放送所に依賴し來月一日から連日ラヂオを通じ啓蒙宣傳を行うと共に從來の經驗に鑑み學童を動員しての啓蒙宣傳が非常に効果的でもあり、學生生徒に對する社會教育の一端ともなるので今回も學童の應援を求むる事となり二十六日午後一時より市役所會議室において市內中、小校長の參集を求め教育委員選擧に對する打合せを行う事となった

縣外研究から中島校長歸る

平一中校長中島茂氏は本年四月縣派遣の長期研習生として教育行財政を研究の爲東京研習所に出張中であつたが去る廿一日歸校した

平競輪日變更
全國會議の結果

平競輪は既報の如く去る十六日開催した常任運營委員會において審議の結果第一回施行日を明年一月十三、十四、十五日を第一節とし第二節を十九、二十、二十一日の六日間と決定したがこの施行日について再檢討を要する事となった、平市の阿部助役及須藤競輪室長は二十三日東京都の都道府縣會館に於て自治廳主催で開催した全國競輪施行者會議に出席し二十三日夜歸任したが、本會議に於て目下自肅中の競輪は來月十五日で自肅期間二ケ月を經過するので設備の完備した競輪場は同日より再開する事は差し支えない事となつたが從來一ケ年を通じて一回の施行日數を六日間とし十二回、即ち七十二日間開催する事を許されていたがこの會議の席上通産省の指令により寒冷地帶は特例として一回の施行を六日間とし年八回開催する事を認められたが平市の如く年間を通じて開催出來る地方では一回の施行日を四日間とし年十二回、日數にして四十八日間に限定され施行日は土曜日曜若しくは祭日に限れ且つ從來一日十二レースまで認められたが今後は一日十レースに限定される事となつた、平市ではこの決定に基き近く運營委員會を開催し競輪施行日について再審議を行う事となつた

餓死から救えと
自由勞組　稼働日增加を要求

平自由勞組代表野崎峯外四名は二十五日正午から約一時間平職安で佐藤所長と面會△冬を迎え生活費は夏の倍にもなるので現在の就勞狀態では餓死するから完全就勞をさせて慾しいと要求△佐藤所長から安定所でも事情を認めて居り過般來市した勞働省齋藤安定局長も石城の特殊事情を考慮善處を約して居るので近く月に二十日くらいの就勞になる可能性があると思うので善處に努力するとの解答を得て引揚げた

厚生勞組安定所に交渉

平失業厚生勞組代表正木定雄外一名は二十三日午前十一時から約三十分に亘り平職安で佐藤所長と面會、現在同勞組員の中から競輪場の作業に十名程就勞しているが賃拂が十五日毎締切りのため生活に困るから安定所並に五日拂にしてほしいと要求した、佐藤所長から同事業は市內業者の請負であるので安定所で左右することは出來ない、業者と接渉要望に應える樣努力すると回答した

就勞停止を解けと迫る

內郷町自由勞組代表鈴木磐夫外三名は二十三日午後一時半から約三十分に亘り職安で佐藤所長に面會、先般職安鈴木正失保課長に暴行を働き無期限就勞停止を言い渡された同勞組山崎晃の既時就勞をせまった佐藤所長から勞働省の方針に基づき現場の秩序の攪乱者として就勞停止處分をしたので即時就勞は認めることが出來ないとはねられた

模範店員を表彰
文化の日商工會議所で

平商工會議所では來る十一月三日文化の日を記念して商業從業員中の永年勤續者を表彰する、範圍は1商工從業員たること2同一職場に二十年以上勤續しているもの3成績優秀にして一般の模範たることとの三條件により二十五日まで各商工經營主から申請を行い表彰者を決定する

鉋金製品盜難

好間村北好間好間炭鑛々業所長工藤正太郎さん方では二十二日夜自宅內からほう金製工具八貫時價一万円相當を盜まれた

解消されぬ住宅難
家ない市民の惱みは續く

食糧、衣料事情の窮迫は一應緩和され生活必需品及び娯樂ものにも昔にかえつた終戰五年の日本に未だ依然として殘されたまゝ解決されない住宅難は冬來たると共に益々深刻化して平市における住宅を求める人は日毎增加の一途をたどつてすでに七百名を突破している狀態、市では空襲によつて七百七十八戸が强制疎開で崩された計一千一百戸の復舊に努力して現在までに三百六十五戸の市營住宅を補充完成し廿二戸を十一月中旬に完成して四十三戸を引續き補充する事になっている、なお個人建設の住宅はすでに八百戸にのぼり個人建築申込に二百名が届け出ている、戰火による一千一百戸の家屋に對して復舊された戸數は九十六%に達しておりながら住宅申込が日毎に增加することは轉入者が激增したことから住宅難の悲鳴はあとを絶たないもので茲當分はこの惱みは解消しそうもない

十二名え通告
常磐炭礦でも赤を追放

常磐炭鑛では二十三日午後一時から會社側林田所長以下二十一名、組合側齋藤副組合長ら常任執行委二十一名で赤追放に關し團交を行い會社側から湯本鑛二名、製作所三名、內郷鑛五名、磐崎鑛二名、計十二名(公傷休養中のもの二名含)を發表するとともに各個人に對しそれぞれ通告した、組合側では同問題についてはあくまで磐炭勞の基本線に添い便乘的整理の行われない事を强く主張するとともに通告を受けた各個人の整理事業を調査の上對策を協議することになった、會社側では二十四日中に退職手續をなしたものは依賴退職それ以後は解雇と言ふ既報方針通り實行するが組合若しくは各通告を受けた個人から苦情のあつた場合は各鑛毎に仮設苦情處理委員會によつて一應取り上げ檢討善處すると語つている、なお同赤追放問題は全國的なものであり組合及び各個人も諒解してくれるものと見て居り二十四日午後二時現在通告により退職手續をすませたのは一名で後數時間が注目されている

點字競技會一般の參觀希望

平市田町平光寮では來月一日、午前九時半から同寮發足一週年記念並に點字記念日の行事として盲學生の點字競技會および聾兒の授業を一般に參觀せしめることになった

中學校体育連盟を結成

廿四日午前十時より平一中において中學校長及び体育主任が參集して臨時校長協議會を開き生徒の体育增强を圖るため中學校体育連盟を結成する事になった

二百萬圓相當の受取書消ゆ
三人組に滿員列車で

小名濱町字隼人木材砂利販賣業長瀬康司(三〇)さんは二十三日午後五時半ころ上り二三〇列車が平驛發車後まもなく同列車中間デッキ附近で上衣右ポケットに入れて居た現金一万六千圓、二百万圓相當(鹽サケ二千貫スジ子二十五樽)の賣渡書の入つた布製財布をスリ取られた、同列車は混雜していたゝめデッキに立つていたところ背後から一見與太者風の男が三人入つて來て同人を押し立てられた瞬間の出來事、三人共謀の犯行と見られている、平公安で目下取調中

若僧衣類盜む

湯本町淺貝無職古松盛(一九)同工藤深二(一七)假名は共謀の上二十三日午前六時ころ湯本町下淺貝運搬夫管野森雄(三〇)さん宅から背廣服など二十三點二万五千円相當を盜み同日午前十時ころ湯本町署に逮捕された

病苦から縊死

內郷町大字宮字峯根五七無職鈴木忠衛門さんは二十四日午前七時ころ自宅裏で首をくゝつて變死した、同人は永らく病氣を苦にしていたもので病苦の清算と見られる

炭鑛野球大會
1對1でドロンゲーム

平石炭事務所主催の第三回炭礦親善野球大會は廿二、廿三の兩日平工、平商、磐高の各球場で行つた、優勝候補と目されていた勿來常磐が早くも第一日目に破れて番狂わせを演じ、大會に興をそえて成り行きを注目されたが第二日目の準決勝は茨城2―7好間B、と山一0―3湯本で好間Bと湯本チームが午後三時半から決勝戰に入り初めから投手戰で一對一のまゝ延長十回に亘り勝負が決しないうち日沒のためドロンゲームとなり決勝戰は近く行う

商狀、經濟欄

【鮮魚】二十四日現在卸値(單位貫)

かつを	四〇〇〇円
ひらめ	五〇〇〇円
小ひらめ	三五〇〇円
かれひ	二五〇〇―二〇〇〇圓
ながしら	二〇〇〇円
まこ	三〇〇―一二〇〇円
やなぎ	四三〇―四〇〇〇円
むし	三五〇―一八〇圓
さんま	一八〇圓
いか	一〇〇―五〇〇円
はうぼう	三〇〇―一六〇〇円

市況―入荷多く人氣なし

【青果市況】丸サ市場

きうり	二五〇円
玉ねぎ	六〇―四〇〇円
大根	三〇―一〇〇円
松茸	一〇〇〇―八〇〇〇円
白菜(六貫入)	二二〇―一五〇円
たるぬき	一一〇円
柿	五〇―三五〇円

市況―活潑

【株式市況】25日前場　磐城證券

全然動かすどうにもならないこげつき相場となった、出來高は概算八〇万株

鋼管	六九	呉羽化	[illegible]
東洋紡	三〇八	苫小牧	[illegible]
鐘紡	一三六	十條紙	[illegible]
日清紡	二五四	本州紙	[illegible]
呉羽紡	一三六	日セメ	[illegible]
日東紡	一〇九	磐城セ	[illegible]
片倉	六〇	小野田	[illegible]
帝人	一六六	不動新	[illegible]
東洋レ	一四九	陽和不	[illegible]
新光レ	三四〇	開東不	[illegible]
山パル	一八四	三越	[illegible]
東海上	五一〇	日麥酒	[illegible]
新郵船	一七〇	朝麥酒	[illegible]
三井船	一三六	キリン	[illegible]
日發	三三	寶酒造	[illegible]
三井山	四八・五	野田醬	[illegible]
日石	七二	豊年油	[illegible]
三井造	一六五	高壓	[illegible]
日立	三四	日産化	[illegible]
東北パ	二〇四	日活	[illegible]

人事ニュース

△石城地方事務所庶務課主任有賀篤氏は廿三日附で總務課長に發令された

△廿三日午前八時卅五分發列車で蓮沼縣會議長は出縣

△小野、立花兩小名濱町議は廿四日縣營埋立地工事陳情のため出縣

JOCP ローカル 郡山 JOHQ

【廿五日】前7時15分心の灯＝明るい心＝郡山市開成山道因寺住職石田宏道、後5時15分子供の時間＝郡山子供新聞(4)＝野村アナウンサー、後6時30分家庭と婦人＝座談會「若い心」＝安女高教官遠藤富吾他

外科
外科一般
整形外科
性病科
皮膚科
肛門科
松村亨

胃腸
內科
胃腸科
呼吸器科
放射線科
松村鐵郎

平市南町
電一〇七
松村醫院

定評有る紳士靴
大塚の婦人靴
最新型・・・・豊富
競技用靴　野球靴　ラクビー靴
御注文・・・迅速
平驛前通り
大塚運動具店
電話七十七番

◎新設◎
玩具部
ニコニコ一家
壽のオモチャ
◆是非御立寄の程御待ち申して居ります
壽百貨店
平驛前TEL656

呼吸器科
胃腸科
小兒科
平市古鍛冶町(縣社下)
後藤醫院
電話一〇三六番

木炭部新設
◎配達迅速
多少に拘らず御用命の程御願ひ致します
平市大町通り
水野氷室
電話二九九番

期待も薄いサンマ漁

盛漁期控えて濱活氣なし

本年こそはと貨車輸送によつて新鮮なサンマを送ろうと萬端準備して期待をかけられていたサンマ漁も依然として活氣を呈するまでに至らず一万貫の水揚突破した者は數えるだけで何れも五、六百貫止りの漁獲高、水揚皆無と云う船もある悲觀説さえ飛び出している、南下するゆう泳狀態や魚体から推しても中漁で大漁は期し難いものがあると經驗の永い船主は語つて居る、また魚群の濃薄はあつてもこれを集中漁撈の面においても郡下の船團は統制がとれていないため各船の水揚にもむらが出來ていることは遺憾で茨城縣船團の場合は各船とも無線連絡に依つて魚群の發見と同時に速報され均等的に水揚されていることなどが小名濱方部の船主間にもようやく注目されている

江名縣道近く改修

江名町では去る四月の水害により同町風越地內縣道が交通に至極危險な狀態であるので早期復舊方をこのほど平土木監督所に陳情した同箇所は巾二米、長さ五十米に亘り海面に崩壞したもので應急處置として同町寄年團の協力で崩壞箇所に棚を設けて危險を防止していたもの、監督所でも實情を調査の上早期復舊に努力する意を明かにし目下設計を急いで居りこれが完了しだい豫算決定を俟つて着工される

埋立地の實現え

二町提携、縣え陳情

江名町と共同で縣營埋立地工事の着手に就き土地使用に關し交渉を重ねていたが廿一日江名町側から土地使用を容認、小名濱町と提携して共同の上縣え陳情すること等回答に接したので廿四日小野、立花兩委員は江名町側町議とともに出縣し陳情した

保安技術講習所

きよう開所式を擧行

內鄕町淺野會館に設置された平鑛山保安技術講習所は廿四日午後一時開所式を擧行した、第一回講習者は各炭礦から五十名が入所する講師は保安監督部平支部長外技術官、早大教授中野博士等があたり保安係員の再教育を主眼としたもの

米の實收高調べに坪刈り

食糧事務所平出張所では平市內に於ける二十五年度の産米實收高調査のため次の日程で坪刈りを實施する事となつた△二十六日飯野地區△二十七日神谷地區△二十八日市內地區

小名浜通信

小名濱町に起つた問題で何と云うても爆彈引揚げは相當の渦巻きを起して居る、第一相當の利益を見込んだものが果して利潤が握れるか否かが大問題で、そこに不正事件が含んで居ないかと見られポッポッその端緒が尾穗を出し初めたと見られて居る、昔から危い處に金儲けがあるときもあらん

×

時代は人情紙よりか薄いと信なるが如しだ、自分勝手な理屈の許に離婚沙汰が數知れず、中には調停裁判に依つて解決しようとする最後の手を使うものもある、之れがため裁判所も判事さんが忙殺されて居る、いざ別れ話しの最後は金錢の問題となるそうなると義理も人情もなく金を取れば萬事が解決を見ると云つた風に全く僥季の世とも云うべきか、小名濱町に於ける離婚のために調停された事件がそれこそ擧げて數えきれないとは人情の薄くなつた證據だらう

×

勸業銀行小名濱出張所愈々引き拂う運命が目前に控え解散式を廿三日午後某亭で擧行したと聞く、本出張所が長い生命を持たぬとは廿四年度において觀破した平支店長の嘉悅氏の態度が其の今日ある事を判然と見出して居た、金融業は決して救濟事業でない限り致し方ないとするも事業は盛衰がある、其の浮沈を見拔いて帆をく事は先見の明ありと云うべきだらうか其の事業の盛衰は物の數だ、そう簡單に方付けようとする處に狂いがある、況んや國家的事業の特殊な銀行におやだ、嘉悅氏また榮轉か、左遷かは知らねど遂に磐陽を去つて今いづこ、哀れむべし、嘉悅氏の前途を

×

小名濱町會議員三十名中タツタ一人婦人議員が居た、近藤かぬ女史である、旦那さんは近藤安雄さん、本縣巡査部長を辭し最も私淑した故小野晉平氏を慕つて小名濱町に落ちつき磐城水産工業の創立から重役になつて會社を退き目下漁業會の揚繰網漁業加工部の總務として活躍し其の令閨として産婆を本業に夫君と別個の經濟のために活動して居ると云う變り種子だ、廿二年四月町議に當選以來婦人の代表として氣を吐いて居るのは先日御承知の通りであるが、過般名古屋市に港灣協會の總會に港灣問題の重大性を持つので全員の出席だから何事を措いても出席し總會には二千名中全くの紅一点で福島縣小名濱町議員の一員として議案に對して贊成と不贊成の區別を判然と黄色聲で贊否の意見を發表したのは萬緑叢中の紅一点と云う、文字通りの實現をやつてのけたので全國の港灣を持つ市町村から出席した選手を眞にチヤームして仕舞つたと云う挿話を殘して引き上げたとは目出度し

商高珠算檢定試驗

全國商業高等學校長會主催の高校生徒珠算檢定試驗は來月十二日午前九時より平商高で行う、申し込みは廿日現在でしめ切つた平商高申込みは二百七十名（內平商百八十名、小名濱高九十名）である、級種は一級より五級までゞある、他方部の申し込みを見ると喜多方高校＝六十一名、白河高校＝九十名、若松商＝廿四名であつて郡商、福商の二會場分は未詳である、試驗に先立ち廿五日午後一時より郡商において打ち合せ會を開く

中學珠算競技大會え市長賞

平商業高等學校主催、平商工會議所、平市、職員教育振興會後援の中學校生徒珠算競技大會は來月十一日午前九時より平商に行うが申し込みは廿二日でしめ切つたが五校、四十名の參加申し込みであるので月末まで延期した、また本競技會の優勝者および優勝校には市長賞並に平商工會議所會頭賞が夫々授與されるので多數の申し込みを待つている

寫眞展覽會

平工高カメラ倶樂部では來る廿八、九の兩日に行う平工高文化祭には寫眞展覽會も開催することになつた

工業教育協議會

廿八、九日午前九時より郡山工業學校において縣下工業教育研究會を開くが平工業學校より富田教務主任他十二名の教員が出席することになつた

ペタルを踏んで

片濱ハイキング隊出發

平市役所職組の有志十五名（男六、女九）は廿四日午前九時銀輪部隊を編成して第三小學校前から出發、夏井豊間、江名、小名濱と片濱廻りのハイキングにさわやかな秋空の下で若き日の若い健脚を躍らせて湯本、綴を廻り午後五時四十五分市役所で解散した

さながら科學館

特異性もつ平工文化祭

平工高の文化祭は廿八、九の兩日午前九時より開くがその展示會は電氣科の發電所パノラマ展、その他のごとく工業校の特異性を發揮しているし、また市內映畫館後援でナトコ映寫機による映畫會、演劇は「警笛」その他多く寫眞展、新聞展を行う他、ボクシング部は日大けん鬪部を招いて模範試合（午前九時半より）また校內ボクシング大會、ラグビー部は現役軍とOB軍との對戰、廿九日にはラグビー縣大會濱通り豫選會（參加校双高、小名濱高、湯本高、內高、小名濱水産高）など他校には見る事の出來ないものでこの多彩な催しは一般の目を引き人氣を呼ぶことであろう

―三郡事務所 親善野球―

廿二日相馬郡中村町營球場で行はれた三郡地方事務所親善野球大會は第一試合相馬4―3石城、第二試合双葉9―7相馬、第三試合石城3―1双葉の成績で親善野球にふさわしい一勝一敗で午後四時終了した

都崎（茨大）部長

講演會を開く

廿六日午前十時半より平工高では茨城大學工學部々長都崎雅之助工學博士を招いて講演會を開く、演題は「アメリカ工業教育の實際「について」である、また午後二時より磐高講堂において行う

猪俣校長追悼座談會

廿八日午後一時より小名濱高校において磐城地區高校長協議會を開く、終つて故猪俣湯本高校長の追悼座談も行うことになつた

俳句大會を開く

文化の日、水素工場で

小名濱町日本水素工場では十一月三日の文化の日を記念して講演會並に俳句大會を開く、講師としては日本女子大、明治大學講師中島武雄氏を招く、日程は次の通り

三日午後三時より同町會田醫院で俳句大會、講評中島武雄氏

同日午後六時より同町會田醫院講演會「近代俳諧史」「現代俳句の動向」講師中島武雄氏

四日午前十一時三十分より日本水素勞働組合事務所講演會「美について」野澤燭火氏「生活と文藝」中島武雄氏

午後五時より日本水素クラブ俳句實作指導＝俳句の作り方、味い方、質疑應答＝中島武雄氏

重油を盜んで書類送檢さる

江名町辻町漁業坂本八十吉（四五）方雇人舘柳喜作（三七）同町向畑吉田文次郎方雇人神保六右衛門（三三）の兩人は共謀の上、六日午後六時ころ坂本八十吉さん所有のドラム罐入り重油六本、一万九千円相當を盜み十五日江名町署員に逮捕、取調べを受けていたが廿三日書類送檢された

獵友會支部役員會

廿五日午後一時より石城地方事務所において縣獵友會平支部役員會を開く

一、廿五年收支決算報告

二、廿六年豫算編成

三、狩獵規則改正に伴う打ち合せ

四、解禁の打ち合せ

その他について協議する

ダットサンに刎られ重傷

廿二日午前十時半ころ內鄕町大字宮字代鈴木長節長男勝（二四）さんは同町綴字坂宮地內國道上を自轉車で通行中前方から來た平市一丁目平製油ダットサン＝運轉手國井裕晃（三〇）＝にはね飛ばされ右脚に全治一ケ月の重傷を負つた

ダイナマイトを盜む

田人村中野三和炭鑛彩炭夫鄕內清（三八）は同沼井四郎（三一）と共謀去る八月三十日夜田人村三和鑛業所荒木久治（四四）氏所有新抗事務所內戸棚からダイナマイト三十本時價一千円相當を盜み十九日植田地區署に檢擧取り調べを受けていたが廿三日書類送檢された

江名漁業會の賊擧る

江名町字江の浦朝鮮人ブローカー西山定夫（五六）は江名町漁業會から水進機二十貫一万円相當を盜み十八日送檢された、同町藥港事務所雇人夫吉田重一ら三名から盜品を三千二百円で買い同地內振旗弘さん宅前道路ワキに埋めていたことも判明した

出生 十一日平市研町高野長三郎氏五女富枝さん△七日同八幡小路鈴木次夫氏長女幸子さん△十二日同大町佐藤長壽氏二男英次さん△廿日大野村大字戸田渡邊止郎氏長男一仁さん

死亡 廿一日平市五丁目佐分喜一（五〇）

廿四日晩は北寄りの風宵の內所により小雨がパラつきますが次第に良くなり冷え込みませう、廿五日は北寄りの風朝晩割り合い雲が多いですが日中は良い天氣であたゝくなりましよう、廿六日も同樣の天氣が續く見込です、海上は多少波立ますがおだやかな方でせう

メガホン

磐城共立病院も愈々十一月一日から開院の運びとなつたが同病院の宣傳費を狙つて各新聞社の營業部員が町村會事務局を訪れ「病院の經營は何により宣傳が第一で……と」盛んに水を向けているが新聞社慣れをしている橋本事務局長は一向動ぜず「新聞社には何れおつき合い程度の事はやる考えであるが僕には文書宣傳よりも效果百%の名案がある」と涼しい顏をしているのでその名案なるものを伺いに及ぶと橋本さん憶面もなく「宣傳費の大部分はこの地方の易者に至るまでにバラ撒くのだ、そこで易者の所え病氣で惱むものが現われた場合はこの方角の病院に行けば必ず癒ると云う寸法で共立病院の方角を指して貰う事にする、そうすれば八卦も當るが共立病院も大當りと云う譯サ」には新聞社の心臓組もロアングリの体

本場　―牛豚肉―　自慢

配達迅速

第一綠屋　電539

第二綠屋　電79-4

大衆食堂

汽車の御待合せ
御買物の御歸りに
御氣輕に御利用下さい

そろそろ熱カンの季節です。左黨の方は御座敷風食堂で一杯いかが!!

さかえ

平驛前東角

良い品は良い店で

御召物を引立てる

風呂敷　伊達〆　羽織紐　帶止　帶揚　半衿

御進物に御利用下さい

かみや　平市2 T256

おいしい支那そばの加工を始めました

加工料百匁に付四個【壹ケ一円五十錢】

何卒御用命下さい

平製パン製めん部

電話二十一番

1950年式

最新型高級
裁斷と裁縫

移る時代の新型
スマートな洋服を造る店

洋服の新調なら着る身になつて親切をモットーに造る皆樣の渡邊洋服店へ

御注文は電話九五七番へ早速見本を持つて御伺ひ致します

渡邊洋服店　紅小路　電957

冬の訪れとフクロクストーブ

ストーブと云へばフクロク
ストーブ界の王者!!

『フクロクストーブ』

本年も御愛顧御買上賜はり度御願ひ申し上げます

御註文は電話二三七番へ

各種カタログ持參の上御伺ひ致します

平市田町24

常磐福島縣販賣株式會社

社長　阿部政右衛門